

JEC関連 新聞掲載記事

2019.6~2020.5

道の駅「雨晴」に全建賞 景観との調和を評価

高岡市太田の道の駅「雨晴」が、全日本建設技術協会（東京都）が優れた建設事業に贈る全建賞に選ばれた。二〇一八年度の県内の受賞は道の駅「雨晴」一件のみ。

授賞理由は、地域資源の魅力発信拠点を目指し、産・官・学の検討会議がコンセプトから施設デザインなどまで、景観に調和して建設した点が評価された。

全国から三百四十四事業の応募があり、全建賞には道路や河川、都市などから計八十事業が選ばれた。



道の駅「雨晴」の外観＝高岡市太田で

道の駅「雨晴」は一八八年に富山湾沿いの国道415号に観光休憩施設としてオープンした。富山湾越しに望む立山連峰のオーシャンビューが人気で、道の駅は海や周辺の自然に映える白色を基調にした豪華客船をイメージさせる建物。

同協会は国、地方公共団体、機構・公社に勤務する建設技術関係者約六万人の会員でつくる公益団体。全建賞は一九五三年に創設し、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備やニーズに合った取り組みに対して授与している。

表彰式は六月二十五日に東京都のアルカディア市ヶ谷で行う。（武田寛史）

中日新聞 CHUNICHI Web 2019年5月31日(金)掲載

台湾産マンゴーの安全性を確かめる植物防疫官
—富山空港



台湾からマンゴー300㌔輸入

富山空港で7日、6月に開設された検疫施設の完成記念セレモニーが行われ、農林水産省や富山県、富山空港協議会の関係者ら約30人が出席し、富山と台湾の経済交流の活性化を期待する中、空港には早速、台湾産マンゴーが運び込まれた。農水省の担当者が検疫で安全を確認するため、検疫施設は害虫や青臭の原因となる菌の飛散を防ぐ建物で、広さ9・9平方メートル、天井高約1・8メートル、工費は約180万円で、県が半額を補助した。検疫

富山空港 検疫始まる

施設完成祝式典

富山空港で7日、6月に開設された検疫施設の完成記念セレモニーが行われ、農林水産省や富山県、富山空港協議会の関係者ら約30人が出席し、富山と台湾の経済交流の活性化を期待する中、空港には早速、台湾産マンゴーが運び込まれた。農水省の担当者が検疫で安全を確認するため、検疫施設は害虫や青臭の原因となる菌の飛散を防ぐ建物で、広さ9・9平方メートル、天井高約1・8メートル、工費は約180万円で、県が半額を補助した。検疫



検疫施設で台湾産マンゴーを点検する植物防疫官—富山空港

富山空港に植物検疫施設が完成し、7日に富山県秋ヶ島の同空港記念セレモニーが開かれた。果物や植物などの輸出入が可能になり、県は活期便による航空貨物の取扱量を拡大し、空港の活性化を目指す。この日は台北便で台湾産マンゴー300㌔が輸入された。農林水産省名古屋植

富山空港に植物検疫施設 果物・野菜の輸出入可能

物防衛所伏木富山支所の植物防疫官が施設内で、分室から取り出し、病害虫の付着がないか点検した。県は台北便に多量物輸入への活用を主に想定、富山市内の台湾産マンゴーの輸入業者は現在、羽田空港などから陸路で富山に運んでいるため、こうした1人づつ取り込む担いだ。航空

ドワやボンカンの仕入れも検討している。検疫施設は平屋建てのプレハブで、床面積約10平方メートル、富山港ターミナルビルが約180万円で整備し、県が半額を補助した。セレモニーで山崎康至副知事は「海外との経済交流の活性化に期待している」と語った。マンゴーは6月末にも輸入しており、空港内などで既に販売している。

北日本新聞 2019年7月8日(月)掲載

富山新聞 2019年7月8日(月)掲載

県外のバイヤーに
県産食材売り込み
富山で商談会
県の「オールとやま」県産
食材商談会Ⅱ写真Ⅱは30
日、富山市のオークスカナ
ルパークホテル富山で開か
れ、県内の農林漁業者や食
品加工業者など30事業者が
販路拡大に向けて県外のバ
イヤーに食材を売り込ん
だ。

バイヤーは県外から首都
圏や関東の17社を含めて計
38社が参加し、県内からも
14社が訪れた。県や県漁業
協同組合連合会の職員らが
県産食材の特徴を紹介。県
内の事業者は各ブースで試
食を交えながら、自社で取
り扱う食材の魅力をPRし
た。オークスカナルパーク
ホテル富山の渡辺徹総料理
長が富山米新品種「富富富」
などを使った料理を紹介し
た。



富山新聞 2019年7月31日(水)掲載



富山新聞に掲載された商品画像

富山新聞に掲載された商品画像

ジェックと廣貫堂

カンボジアで物販参入

富裕層に美容ドリンク

ジェック経営コンサルタント（富山市湊入船町、山瀬孝社長）は、廣貫堂（同市梅沢町、塩井保彦社長）と協力し、カンボジアで同社の美容ドリンクの販売を始めた。高品質な日本製ブランドを打ち出し、富裕層向けにマーケティングを展開している。現地市場にいち早く参入して先行者利益を得るとともにリピーター獲得を目指す。

ジェック経営コンサルタントはフェイスブック（FB）を活用してドリンクを販売。FBのコメント機能で注文を受け付け、宅配業者が顧客に製品を届けて代金を受け取っている。

配送エリアは首都アンペンが中心だ。カンボジアは経済成長に伴い購買力のある富裕層の厚みが増している。同社は現地の20代以上の女性を対象に調査を実施。美容に関心の高い女性の間で日本製美容ドリンクへのニーズが高いとみられる。

美容ドリンクは廣貫堂が開発するブランド「うつくし堂」の製品で、コラーゲンやアルコサミンを配合する。毛果果汁入りのカンボジア人スタッフが発売した商品画像

地企業向けに人材教育のコンサルティング事業を展開している。

北日本新聞 2019年8月6日(火)掲載

深層水トマト味 甘く完成

滑川高商 新ジェラートきょう発売



滑川 滑川高校・滑川市がブランド化を進める「海洋深層水トマト」や、

姉妹都市・栃木県那須塩原市産の牛乳を使ったジェラートを考案した。試作品が完成し、7日に滑川市役所

完成したジェラートを手に笑顔を見せる(右から)藤井さん、長岡さん、石倉さん

で生産者と味わった。同校商業科の生徒でつくる模擬株式会社「滑商」が企画。2017年から地元特産を使ったジェラートを開発し、今回はリンゴ、ブドウに続く第3弾となる。農事組合法人「営農笠木」(同市笠木)から、滑川沖の深層水を土に与えて育てたトマト18kgを購入し、栃木県の業者に牛乳と合わせて商品化してもらった。滑商社長の藤井俊さんと副社長の長岡新悟さん(いずれも3年)、営農笠木の石倉一成さん(41)らが上田昌孝市長と試食。「トマトの味や甘さがしつかりあり、牛乳ともマッチしている」と話した。1カップ110円で、350円。8日から北陸自動車道有機海サーブスエリア上り線(同市)で販売する。9日午後1時から生徒がPRする。

北日本新聞 2019年8月8日(木)掲載

伝統工芸身近に

イオンモール高岡に アンテナショップ 銅器や漆器販売

県西部の伝統工芸品や地場産業品を扱うアンテナショップ「T.O.C.U.L(ティ・オクル)」が14日、増床リニューアルするイオンモール高岡(高岡市下伏間江)にオープンする。ジェック経営コンサルティング(富山市)が中核となり、銅器メーカーや金漆職人、北日本新聞社などによる合同会社が運営。産業観光をもつくり体験施設の情報も提供し、県西部の魅力を発信を目指す。



ギフトに適した伝統工芸品を取りそろえた「T.O.C.U.L」

富山もようグッズも紹介

イオンモール高岡の西館(増床棟)1階に約1,300平方メートルの店舗を構える。伝統的な町家が並ぶ高岡市金屋町をイメージし、千本格もので、高岡銅器や高岡漆器、子や石畳を模した内装にした。ティ・オクルの店名は「高岡を贈る」をもじった。高岡銅器や高岡漆器、井波彫刻、庄川挽物、五箇山和紙といった県西部の伝統工芸品の中から、ギフトに適した商品をそろえる。2千〜8千円の手頃な価格帯を中心とし、伝統の美を暮らしに取り入れてもらうことを狙う。地酒や地元産の農産物も加工したグッズも販売し、スズや漆器のグラスで試飲できる。工芸品だけでなく、主要産業であるアルミを用いたインテリジェントなグッズや「富山もよう」グッズも扱う。伝統工芸の知識にたけたコンシェルジュを配置し、客のニーズに応じた商品を提案。伝統の技に魅了された客への施設やイベントも紹介する。ジェック経営コンサルティングの小島がおり、第三事業部長はこの店を拠点に、人が中心市街地や伝統工芸の産地へ流れる

ようにしたい」と語る。オープンイベントと

して14、16日に高岡漆器の螺鈿細工体験を企画する。合同会社は銅器メーカーの能作、銅器習色のモメンタムファクトリー・オーエィ、金銅器製造のナカニ、新光銅子工業など10社で構成。高岡地域地場産業センターが協賛する。5日に富山市で設立総会を開く。

北日本新聞 2019年9月5日(木)掲載

9.14 Sat OPEN!
ティ・オクル
T.O.C.U.L
Takaoka area local industry center

イオンモール高岡増床棟に初出店となる「T.O.C.U.L」は、伝統が生活の一部に溶け込む独自のライフスタイルを追求。発信するショップ作りを得意とする。高岡で培われた伝統工芸の技術を生かし、実践された現代工芸品を取り揃えております。是非、お立ち寄り下さい!

取扱商品 ~高岡地域の伝統工芸~

- 高岡銅器
- 高岡漆器
- 庄川挽物
- 井波彫刻
- 越中和紙
- 越中福島の曾堂

3日間 9月14(土)・15(日)・16(月)

●●伝統工芸の魅力発信●●

ワークショップ **螺鈿の実演と製作体験**
(協力: 武蔵川工務)

【所要時間】60分
【定員】5名/各回
【開催時間】13:00、16:00、19:00/各日
【申込方法】お電話にて予約受付中
(先着順) 当日参加も承ります。

プレゼント企画 **ご購入特典**

- 前売2,000円以上(当日ご購入の方) 黒部峡谷鉄道 ペアチケット
- 前売1,000円以上(当日ご購入の方) 送の駅「雨晴」お食事券 1,000円分
- 前売5,000円以上(当日ご購入の方) 海王丸、クルー カフェ KAIYOMARU CAFE ソフトクリーム券

お申し込み・お問い合わせ
株式会社ジェック経営コンサルタント
9月13日 TEL.076-444-0035 (受付/中/夜)

9月14日 TEL.0766-30-3900 (受付/中/夜)

工芸品販売で合同会社

イオンモール 高岡に出店 10社参加し設立

県西部の伝統工芸品や地場産品を扱うアンテナショップ「T・O・C・U・L（ティ・オークル）」を運営する合同会社の設立総会が5日、富山市湊入船町のシェアック経営コンサルタントで開かれ、関係者が県西部の魅力発信へ結束を固めた。店舗は14日に増床リニューアルするイオンモール高岡（高岡市下伏間江）に出店する。

合同会社は、銅器メーカーの能作、銅器着色のモメントムファクトリー・Orii、金属製品製造のナガエ、新光硝子工業、北日本新聞社など10社で設立。社名の「ティ・オークル」に

は、「高岡を贈る」という意味を込めた。総会には各社の代表者らが出席。地場産品の普及・発展を目指す経営方針や事

業計画を確認した。代表社員に山瀬孝氏（シェアック経営コンサルタント社長）を選んだ。任期は1年。店舗はイオンモール高岡

の西館（増床棟）に設けられる。売り場面積は約130平方メートル。高岡銅器や高岡漆器、井波彫刻、庄川挽物、五箇山和紙といった県西部の伝統工芸品の中から、ギフトに適した商品を取りそろえる。山瀬氏は「暮らしに伝統工芸を取り入れる県民を増やしていきたい」と話した。

北日本新聞 2019年9月6日(金)掲載



魅力ある高岡へ知恵結集

伝統産業で観光誘客



高山市のインバンド対策を紹介する田中さん(左)

新モデル考えるフォーラム

新しい産業観光モデルを考えるフォーラム「広域の魅力をつなげる」が11日、高岡市のホテルニューオータニ高岡であり、出席者約50人が中部地方の伝統産業を観光誘致に生かす方法を考えた。

他県の実践例学ぶ

フォーラムは、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局が「伝統産業を中心とした体験型産業観光プラットフォーム構築支援事業」として実施した。

岐阜県高山市の田中明海外戦略部長は、同市が30年以上前から取り組むインバンド(訪日外国人客)対策を紹介。「異文化に対する市民の高い理解度が大切」などと話した。

地域振興部長は、伝統の産業を生かした施策について講演した。鋳物メーカーの能作(高岡市)の能作克治社長らにパネリストに迎えたデイスカッションもあり、地域の魅力創出について意見を交わした。フォーラムは来年2月にも開かれる。

↑北日本新聞 2019年10月12日(土)掲載

伝統産業生かす
体験型観光考え
高岡でフォーラム
体験型産業観光をテーマにしたデイスカッションフォーラム「広域の魅力をつなげる」は11日、高岡市の

ホテルニューオータニ高岡で開かれ、約50人が伝統産業を生かした産業観光のモデルを考えた。
高山市海外戦略部の田中明部長と、愛知県瀬戸市地域振興部の涌井康宣部長が外国人観光客の取り込み方

や情報発信をテーマに講演した。高岡市産業振興部の川尻光浩部長、鋳物メーカー能作(同市)の能作克治社長が加わり、パネル討論した。経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局が主催した。

↑富山新聞 2019年10月13日(日)掲載



↑北陸中日新聞 2019年10月14日(月)掲載

伝統産業を生かした産業観光をテーマにした講演「高岡市内で

伝統産業を生かした体験型観光振興を
高岡でフォーラム
伝統産業の体験型産業観光をテーマにしたデイスカッションフォーラム「広域の魅力をつなげる」伝統技術を活かした魅力の創造」が11日、高岡市内であった。経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局の主催。
第一部は、田中明・岐阜県高山市海外戦略部長が同市がインバンドを取り込む海外戦略、涌井康宣・愛知県瀬戸市地域振興部長が同市の伝統工芸を活用した観光施策について、それぞれ事例を紹介した。
田中部長は「外国人旅行者はありのままの暮らしの体感を求めており、どの地域でも外国人旅行者を取り込むチャンスとポテンシャルがある」と説明した上で「最前線外国人旅行者に接する市民が国際度の高い対応をできることが大事」と強調した。涌井部長は

「一會員制交流サイト(SN)を含めた口コミ戦略が腕の見せどころ」と話した。
第二部のデイスカッションでは「新しい価値の創造」をテーマに、パネリストの田中部長、涌井部長、川尻光浩・高岡市産業振興部長、鋳物メーカー「能作」の能作克治社長が産業観光や広域観光のあり方について意見交換した。
(武田寛史)

(19) 全面広告

2019年(令和元年)10月16日 水曜日

北日本新聞

(第13回世界総会)



世界で最も美しい湾クラブ 世界総会 in 富山 本日開催



「世界で最も美しい湾クラブ」とは

フランスに本部がある国際非政府組織(NGO)。世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾など、世界の44湾(26カ国・1地域)が加盟し、湾を活用した観光振興と資源の保全を目的に活動(1997年設立)。日本では、富山湾のほか、松島湾(宮城県)、京都富津湾・伊根湾(京都府)、駿河湾(静岡県)、九十九島湾(長崎県)が加盟。

富山湾の加盟とその後のあゆみ

富山湾は2014年10月、37番目に加盟。標高3,000m級の雄大な美しい立山連峰から水深1,000mの海底まで高低差4,000mのダイナミックな地形・景観など、豊かで美しい神格の海・富山湾の多彩な魅力に加え、県民総ぐるみによる環境保全の取組みなどが高く評価された。15年5月に民間応援組織「美しい富山湾クラブ」が設立される。18年4月にフランスで開催された「世界で最も美しい湾クラブ」第13回総会において、世界総会の富山湾加盟が正式決定。

世界総会の概要

【開催趣旨】

富山湾はもとより本県の多彩な魅力や環境保全等の取組みを国内外に広くアピールするとともに、世界総会の開催を契機として、世界的に豊かで美しい富山湾のブランド価値を高め、さらなる観光振興・地域活性化につなげる。

【開催テーマ】

未来への展望
～沿岸域の持続可能な発展のための環境保全～

【日程】

令和元年10月16日(水)～20日(日)【5日間】

【会場】

富山国際会議場
ANAクラウンプラザホテル富山 ほか

全体スケジュール

イベント内容	会場
16日(水) 午前/湾クラブ総会開会式 午後/富山県美術館、富谷運河水公園視察 夜 / 歓迎晩餐会	富山国際会議場 富山市内 ANAホテル富山
17日(木) 午前/湾クラブ総会 午後/道の駅「南砺」視察(ドラえもん神楽舞臺)、南砺海岸の散策 富山市内視察(富谷水上ライン乗船/中島開門→環水公園)	富山国際会議場 高岡市内 富山市内
18日(金) 終日/湾クラブ総会	富山国際会議場
19日(土) 午前/湾クラブ加盟5周年記念行事 午後/新湊漁港センター準備風景見学 海王丸パークでの各種イベント 夜 / フェアウェルパーティー	富山国際会議場 新湊漁港 海王丸パーク ANAホテル富山
20日(日) 終日/県内エクスカージョン(5コース)	沿岸7市2町ほか

主催:富山県、「世界で最も美しい湾クラブ」2019年富山県総会開催実行委員会 協力:美しい富山湾クラブ

ごあいさつ

「世界で最も美しい湾クラブ」
2019年富山県総会開催
実行委員会会長



石井 隆一 富山県知事

富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟5周年の節目の年に、過去最多の世界各国34湾から約140名の参加者をお迎えし、日本初となる第15回「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会を富山県で開催します。総会の開催に向け、多くのご支援とご協力をいただきました関係者の皆様へ、心から感謝申し上げます。開催期間中には、県内視察やエクスカージョンなどを通して、参加者の皆さんに富山湾の素晴らしい眺望はもとより、世界的な山岳景観を有する立山黒部アルペンルートなどの美しい自然、世界遺産の五箇山合掌造り集落、富山県美術館や富谷運河水公園などの多彩な歴史・文化、新鮮な海・山の幸などの本県の多彩な魅力を堪能いただきたいと思います。また、県民参加の森づくりや国際環境協力など、環境先端領域としての先駆的な取組みを積極的に国内外に発信してまいります。

総会を契機として、豊かで美しい神格の海・富山湾のブランド価値をさらに高めるとともに、自然環境の保全と観光振興・地域活性化に向けた取組みを進めてまいります。

★県民の皆さんもご参加いただける行事やイベントを開催。ぜひ会場にお越しください。

湾クラブ加盟5周年記念行事の申込みは申込みフォームから、または 電話 076(444)9853

富山湾の多様な水産資源の持続的な利用を

公益社団法人
富山県農林水産公社

湾クラブ加盟5周年記念行事

富山湾の海洋環境や沿岸域に関する講演を行います。世界に誇れる美しい神格の海・富山湾について一緒に考えてみませんか。

10/19(土) 10:00～11:30(開場 9:30)
富山国際会議場 3Fメインホール

記念講演 鈴木 基之哉
(元)総務省環境政策センター理事
(元)総務省環境政策センター理事
2007年より環境、気候変動政策、自然環境政策、資源政策、1996年より環境省自然環境政策センター長として環境政策の推進に貢献。2011年より環境省自然環境政策センター長として環境政策の推進に貢献。

美しい海に向けて
～プラスチックと資源の管理～

トクショー 厚狭巨大動物の2大スカー、リュウグウノカイをテーマに、そのどちらかが多く発見される神格の海・富山湾「海を釣る」ことが出来るのか? という疑問から、富山湾が誇る、未知なる巨大生物の存在に迫ります!

小塚 拓次 徳島ハナター

リュウグウノカイ & ダイオウイカは釣れるのか?

1995年、富山湾沖で発見されたリュウグウノカイ、ダイオウイカ。富山湾沖で発見されたリュウグウノカイ、ダイオウイカ。富山湾沖で発見されたリュウグウノカイ、ダイオウイカ。富山湾沖で発見されたリュウグウノカイ、ダイオウイカ。

海王丸パークイベント開催

10/19(土) 11:00～17:15
海王丸パーク

目録型プログラム

●帆船展示の体験的鑑賞

●新湊漁港12基の散策

●湾クラブ参加メンバーによるパレード

●遊船パレード

●帆船ハンター 小塚拓次氏トークショー & クイズ大会

★クイズに答えて「限定性魚バッチ」をゲット!

●親子ワークショップ (9歳未満30分、5歳以下4分/10分)

●フードコーナー (お好み焼き、カレー、ハンバーグ、うどん、ラーメン、焼きそば、おこし)

●無料カ二歳のお楽しみ (13:00～15:00・15:00～16:00 各1時間)

●子ども向け無料観覧“大船あむらむ”

【注意事項】天候等少雨会により、イベントの開催内容の一部・変更、又はすべて中止する場合があります。

●観覧 中山公園側中央:0180-99-1616(無料)

※前日10月18日(金)、当日19日(土)のみ観覧

VISIT 富山県

公益社団法人 とやま観光推進機構
TEL:076-441-7722 FAX:076-431-4133 <http://www.toyama-tourism.com/>
営業時間 9:00～17:00 (休) 12:00～17:00

北日本新聞 2019年11月1日(金)掲載

先端技術アピール

富山ものづくり見本市開幕



県内メーカーの製品や技術などを紹介する「T-M 31 じゅくり総合見本市」が31日、富山市友杉のテクノホールで開幕した。5回目となる今回は過去最多の481社・団体が参加。販路拡大に向け、各社が最新の技術やサービスをPRした。

各社が製品や技術をアピールした会場。テクノホール

県などで行く実行委員会主催、北日本新聞社後援。工作・産業機械や電子部品、医薬品、繊維など幅広い分野の企業や団体がアリスを設けた。県内からは187社が出展。海外は中国や米国、インドネシアなど12カ国・地域から198社が参加した。各社は販路開拓や技術提携を目指して、来場した企業の担当者らと商談した。

技術革新が進む中、今回は先端技術を紹介する展示が目立った。三協立山三協マテリアル社が新幹線車両の軽量化につながるマグネシウム合金製の材料、YK

Kがリサイクルできるファスナーを出展するなど環境や省エネに配慮した事業をアピールした。基調講演では、トヨタ自動車副社長の河合満氏が製造現場での経験を踏まえた技能伝承と人材育成をテーマに語った。次世代を担う人材確保に向け、県内の高

校生や大学生約1800人が各ブースを回る「企業研究ラリー」を実施。第5世代(5G) 移动通信システムのの世界を体験するコーナーなどもある。見本市は11月2日まで3日間の日程で開催。県は期間中に計2万5千人以上の来場を見込む。

富山新聞 2019年11月1日(金)掲載

最新、伝統 ものづくり発信

富山で県見本市 工作機械や薬品、菅笠



最新の技術と見入る来場者。富山市の富山産業展示館

国内外481企業・団体が出展

工作・産業機械、自動車 部品など、幅広い分野の製品が初めて開かれ、ものづくりに携わる女性が発見の機会を捉え、いざいざと活躍する。富山高専などが活動を紹介した。富山の菅笠といった伝統工芸品のPRも行った。

富山で交流懇話会が開かれた。県などで行く実行委員会の主催で、5回目となる。見本市は11月2日まで、1日に技術者交流会、2日には富山市が主催する「富山科学ものづくり教室」など、多彩なイベントが開催される。

県ものづくり総合見本市2019(富山新聞社後援)は31日、富山市の富山産業展示館で3日間の日程で開催した。過去最多となる国内外481企業・団体が、訪れたバイヤーや学生に、最新技術や製品を売り込み、ものづくりの魅力を発信した。

県内企業の中国進出支援

JEC 蘇州市相城区と初提携

ジェック経営コンサルタント（富山市湊入船町、山瀬孝社長、JEC）は、中国江蘇省蘇州市相城区と業務提携した。同区は高い付加価値を持つ日本の製造業誘致を目指している。JECは同区への県内企業進出や、中国企業とのビジネスマッチングを支援する。同社が外国の公的機関と提携するのは初めて。

（経済部・池亀慶輔）



業務提携した商務局トップと握手する山瀬社長（前列左から3人目）17日、中国上海市

今年7日、上海市で日本貿易振興機構（ジェトロ）が協力して行われた相城区主催のフォーラムで、同区商務局トップと山瀬社長が業務提携を締結した。同区が企業誘致に関する業務を海外企業に委託するのは初めてという。

JECは、本社内に「蘇州相城区サポートデスク」を設け、専任の担当者1人を置く。同区は東京と大阪にそれぞれ独自に事務所を構えており、JECが北陸・東海の6県を担当。工場

スーム?

蘇州市 上海市に隣接する江蘇省経済の中心地で人口は約1000万人。長江流域の都市で最も古い約2500年の歴史を誇る。「東洋のベネチア」と呼ばれ、世界文化遺産の庭園や運河といった観光資源が多い。YKK、AP蘇州社など多くの日本企業が進出している。

建設や販路開拓、現地企業との協業に関するアドバイスをを行う。イベントも企画し、投資の魅力をアピールする。

相城区は、中国の巨大経済圏構想「一带一路」で重要なエリアに位置付けられる「長江経済ベルト」に立地する。上海や南京、杭州といった都市から1時間半圏内にあり、人口は約100万人。「中日系スマート製造協力イノベーションエリア」と名付けた工業団地の計画を同区全域で進めてお

り、医薬品やデザイン分野の県内企業に強い関心を示している。

蘇州市に進出しているアルミ加工の倉谷アルミ工業所（射水市片口久々江・新築、倉谷純弘社長）を通じて今回の提携が実現した。

山瀬社長は、中国ビジネス支援が本業のコンサルティング業務との相乗効果が見込めると期待する。「水先案内を務め、富山と中国のパイプを太くしたい」と話した。

北日本新聞 2019年11月22日(金) 掲載

高岡市の飲食店6店が、市内産の西洋野菜ピーツを使ったオリジナル料理を提供するイベント「ピーツで健活 高岡産ピーツのメニュー開発」が5日、スタートした。パスタや漬物、デザートなど多彩な品々でピーツをPRしている。27日まで。（西部本社・村田仁美）

パスタ 漬物 デザート

市内6店 オリジナル料理提供

県西部6市が取り組む「西園地ブランド育成事業」の第1弾として、高岡産のピーツを広く知ってもらうと高岡市が企画した。

ピーツは地中海沿岸が原産の根菜で、「食べる輸血」と言われるほど鉄やカルシウム、ビタミンA、ビタミンC、食物繊維が豊富に含まれている。同市上岡町の「K、sファーム」で作られているピーツを素材に、各店が1〜3品ずつ計10品のメニューを考案し、それぞれの店で提供している。

ホテルニューオータニ高岡「COO」では、朝食で「こじ漬けときんぴら、ラナンチレクレスをビュッフェの1品として並べている。いずれも鮮やかな赤が目立つ。市農業水産課は「ピーツの認知度を高め、ファームを拡大させていきたい」と話している。

▼参加店舗：ホテルニューオータニ高岡、フーズ・イズ・ア・ラ・ヴィ、ヴェンチュラ・イ・タ・ラ・ヴィ、ハッピー・ダイニング・ジョイ・noise

西洋野菜

高岡産ピーツいかが

ホテルニューオータニ高岡「COO」が提供しているピーツを使った料理。右奥がピーツ

北日本新聞 2019年12月6日(金) 掲載

アフリカ行政官が
県内繊維産業学ぶ

JICA研修開講

国際協力機構(JICA)の青年研修「地域における中小企業振興コース」の開講式は5日、富山市湊入船町のKNB入船別館で行わ

れ、アフリカ行政官10人が自国の産業発展を目指して決意を新たにしました。

エチオピア、ケニア、ナイジェリアなど10カ国から20〜30代の若手行政官が参加した。研修は17日までで、富山の繊維産業に重点を置き、小矢部市のゴールドウ

富山新聞 2019年12月6日(金) 掲載

インや南砺市のじょうはな織館などを視察し、講義や体験実習を受ける。



自己紹介する研修員
富山市湊入船町のKNB入船別館

式では、JICA北陸の藤井智専任参事とシエック経営コンサルタントの山瀬孝社長があいさつし、研修員が自己紹介をして緊張をほぐした。

有磯海SA下り最優秀

中日本高速道路管内
メニューコンテスト 上りは特別賞

中日本高速道路管内サービスエリア(SA)のレストランによるメニューコンテスト本選が17日、東京都内で行われ、北陸自動車道下り線有磯海SA(魚津市)が最優秀賞に決まった。上り線同SA(滑川市)は審査員特別賞に選ばれた。

下り線SA「カフェ&レストラン有磯海」は、麻生貴司副料理長が出場した。「高志の国とやま ありそろみの饗応膳」と題し、朝日町のタラ汁から着想を得た米粉の海鮮麺、フリや甘エビなど5色のすしなど、富山らしい6品を彩り華やかに仕上げた。海外の観光客を意識し、牛肉と豚肉を使っていない。価格は税込み1800円。

ホテルイカなどを用いた魚介料理をメインに、県産米「富富富」と黒米を合わせてリゾットとして提供し、米の魅力を強調した。税込み2千円。コンテストは中日本エクスが主催。北陸道や中央道などの計30店が参加し、10店が本選に進んだ。



審査員特別賞を受けた上り線有磯海SAの「富山の恵み」富・富・富

上り線SA「レストランつるぎ」は、シェフの鎌口恵さんが「富山の恵み」富・富・富」を出品。県産

北日本新聞 2019年12月18日(水) 掲載

新ブランド 世界に発信

能作・台湾企業 合併会社設立へ調印



調印式で握手する能作社長（右）と周知識長

【高岡】アジア市場の開拓に向け、合併会社を設立することになった鋳物メーカーの能作（高岡市オオノ）と台湾の金製品メーカー、LOTAグループの調印式が18日、能作本社で行われた。能作のデザイナーとロタグループの先端の加工技術を組み合わせた新ブランド「能作プレシヤス」を世界に発信する。

合併会社は「能作プレシヤス」とし、2月に設立する。台北市に本社兼展示場を構え、プラチナ、金、銀などの貴金属を用いたアクセサリや贈答品から、銅、スズ製のキッチン小物まで幅広い製品を揃える。能作が商品の企画やデザインを担い、ロタグループの工場で生産する。新会社の社長に就く能作の能作克治社長は「高岡鋳物の伝統と最新の技術を組み合わせ、世界ブランド化を目指すとともに、日台の懸け橋にもなりたい」と語り、ロタグループの周神安知識長は「優れた商品が生まれることはもちろん、産業観光が発展することも期待している」と述べた。

北日本新聞 2020年1月19日(日)掲載

能作が台湾で合併会社 「日台の懸け橋に」

2020/01/19 01:40



合併会社設立で調印した能作社長（右）と周氏（高岡市の能作本社）

鋳物メーカーの能作（高岡市）とキッチン金具を製造の「LOTAグループ」（台湾）は18日、2月に台湾・台北に設立する合併会社の調印式を行った。金属用3Dプリンターの最新設備を使い、金や銀、プラチナを素材とした食器やアクセサリ、贈答品の新ブランドを立ち上げ、製造販売する。主に台湾や中国市場を狙い、2023年に売上高は100億台湾ドル（約367億円）を目指す。

合併会社「能作貴金属（能作プレシヤス）」の社長を兼務する能作克治社長、取締役を務めるLOTAグループ知識長の周神安氏らが会見した。能作社長は「最新の技術を生かし、能作の世界ブランド化を目指すとともに日台の懸け橋にもなりたい」と語り、周氏は「富山と台湾のさらなる友好の発展にも貢献したい」と述べた。

デザインや商品開発は能作が主に担当し、第1号の製品は家具デザイナーの小泉誠氏が協力する。

商品はLOTAグループの工場で4月から本格生産を開始し、台北に新設するショップや電子商取引（EC）サイトで販売する。資本金は約1億8千万円で能作が51%、同グループが49%を出資する。

能作は1916年創業。手で自在に変形することができるスズ製容器など食器やインテリア用品を製造販売している。2018年9月期の売上高は約15億円。

LOTAグループは従業員数約1万人、年間売上高は約6千億円。中国・アモイに7工場を持ち、世界70カ国に販路を持つ。能作は台北のホテルに販売店があり、同グループから打診があった。

能作は18日、世界的ブライダルファッションデザイナーの桂由美氏とコラボ商品を開発したと発表した。曲がるスズの特性を生かし、花とさまざまなアレンジが楽しめる「ヘッドアクセサリ」で、価格は2万円（税別）となる。

富山新聞 2020年1月20日(月)掲載

能作、台湾で合併会社 まず金属製台所用品

【高岡】鋳物の能作（富山県高岡市）は2月に台湾で設立を予定する合併会社で新ブランド「能作プレシヤス」を立ち上げると発表した。合併相手でキッチン金具などを製造する台湾の路達工業（LOTAグループ）と能作本社で開いた調印式で明らかにした。貴金属やスズを使った贈答品や台所用品を中国や台湾で販売していく。

合併会社「能作貴金属（能作プレシヤス）」（能作プレシヤスメタル、台北）の新ブランドではまず、デザイナーの小泉誠氏と組んで金属製の台

所用品を年内に発売する。生産は主に中国・福の社長を兼務する能作の建省にあるLOTAグループの工場で行う。LOTAグループの年間売上高は約6000億円、世界70カ国のメーカーと取引がある。新会社は、能作克治社長は、LOTAグループの最先端の製造能力を生かして「中国で需要の高い金の贈答品なども手掛け、2023年に100億台湾ドル（約367億円）の売り上げを目指す」との意気込みを示した。

日本経済新聞 2020年1月21日(火)掲載



能作・ジエック経営コンサルタント

台湾で協業加速 スズ製品の販促強化

鋳物メーカーの能作（高岡市オフィスパーク、能作克治社長）とジエック経営コンサルタント（富山市湊入船町、山瀬孝社長、JEC）は、台湾で協業を加速させる。JECの現地法人に能作が出資して両社の合併企業とし、能作のスズ製品などの販促を強化する考えだ。

1月中旬に能作とJECが合意した。台北市に事務所を置く現地法人に能作が

51%に当たる467万台湾ドル（約1700万円）を出資し、子会社とする。3



ジエック経営コンサルタントの現地法人の事務所—台北市

月末までに手続きを終える見通し。理事長（会長）は山瀬氏から能作氏に交代。総経理（社長）の平川正紘氏は統投する。能作と台湾の金属製品メーカー、LOTA（ロタ）グループの合併企業「能作プレシヤスマタル」の事業展開を後押しする。JECは、これまで能作の代理店として台北マリオットホテルにある能作ショップの運営など同社の海外展開をサポートしてきた。今回の合併によって提携を深化させ、さらなる販路拡大につなげる。現地法人は2013年1月に設立した。スタッフは日本人1人と台湾人4人。能作に加え、県をはじめとする県内自治体や企業と台湾をつなぐ役割を担い、交流活性化に貢献している。

北日本新聞 2020年2月14日(金)掲載

海王丸で永遠の愛誓う 恋人の聖地で「結婚式」



射水 帆船海王丸での「幸せのベル結婚式」がバレンタインデーで同船進水日の14日、射水市海王町（新湊）の同船であり、カ

山港・海王丸財団は「幸せのベル」と呼ばれる同船のタイムベルを慣らす筆式イベントを2017年度に始めた。この日のカップルを合

め計9組が参加している。この日参加した滋賀県東近江市の五十子隆史さん（32）と同県湖南市の山田尚美さん（31）は来春に結婚する予定。旅行で訪れた同パークでの取り組みを知り、記念に参加した。財団職員や観光客らに見守られ、2人は「家族の時間を大切にしたい」と誓いの言葉を述べた。ベルを鳴らし、結婚式の証明書に署名した。

幸せのベル結婚式を挙げた五十子さんと山田さん
……
ツプル2組が愛を誓った。
海王丸パークは恋人の聖地に選ばれており、伏木富

北日本新聞 2020年2月15日(土)掲載

県西部の伝統工芸品などの購入特典を紹介するパンフレット

アンテナ店特典強化

JEC 県西部地場産品を販促



ジェック経営コンサルタント（富山市湊入船町、山瀬孝社長、JEC）は、イオンモール高岡で県西部の伝統工芸品や地場産品を扱うアンテナショップ「T・O・C U.L（ティ・オークル）」の購入者特典を強化している。提携先企業の社員に購入額に応じたクーポン券を贈り、地場産品などの販促につなげる。

提携先はアイシン軽金属（射水市奈呉の江）やヨシケイグループなど3社で、県内企業の2社が近く加わる見通し。社員数300人以上の企業を対象に働き掛けており、年内に50社の獲得を目標とする。

ティ・オークルで5千円を購入するごとに500円分のクーポン券を贈呈。クーポン券は、同ショップに加え、JECが運営する道の駅雨晴（高岡市太田）や海王丸クルーカフェ（射水市海王町）で使うことができる。

同ショップは、JECや鋳物メーカーの能作、銅器着色のモメントムファクトリー・Orii、金属製品製造のナガエ、新光硝子工業、北日本新聞社など10社で設立した合同会社が運営している。



北日本新聞 2020年3月10日(火)掲載

ミラたんもマスク

感染予防PR

魚津

新型コロナウイルス
ス感染拡大を受け、

あいの風とやま鉄道魚津駅の売店「ミラマルシェ」は、店の前にある魚津市のイメージキャラクター・ミラたんの縫いぐるみにマスクを着用させた写真。感染予防の意識を高めて

もらおうと、高さ1メートルほどのミラたんに合わせてマスクを店員が手作りする。宮田一郎店長（41）は「暗い雰囲気なので少しでも和んでもらえたらうれしい。せきエチケットなど予防対策をしっかりとしようというメッセージです」と話した。

北日本新聞 2020年4月2日(木) 掲載

高岡の道の駅・雨晴 地場産品をセット販売



SNSで販売している食品のセット

高岡市の道の駅「雨晴」

第1弾は食品で、「氷見 母の日にちなんだセットうどん」「スルメイカの香味オイル漬け」など5種をまとめたセット(3500円)を販売している。SNSのダイレクトメッセージに加え、電話やメールで申し込みができる。

第2弾以降は、高岡副都心ゆかりの義経岩がある雨晴海岸にあり、天気によれば、海越しの立山連峰を見ることが出来る絶景スポット。道の駅はSNSで、セット売りの商品とともに、周辺の海岸の写真を掲載しており、稲垣美香町長(30)は「雨晴の魅力を知らしてもらい、コロナウイルスが終息したらぜひ来てほしい」と話した。

第1弾、氷見うどんなど5種

高岡市の道の駅「雨晴」が、地元の食品や伝統的工芸品などをセットにして会員制交流サイト(SNS)で販売する取り組みをスタートさせた。新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が続く中、自宅にいながら買い物の楽しさを味わってもらい、道の駅や地域の魅力を全国に発信する。

富山新聞 2020年4月21日(火)掲載

北日本新聞 2020年4月26日(日)掲載

販売にSNS活用

高岡の土産物店

食品やグッズ工夫



ドレッシングなどを売る高岡屋



目撃する商品をセットにした道の駅「雨晴」

高岡市下関町の「高岡屋」は、10日からフェイスブックやインスタグラムなどで土産物の販売を始めた。富山ブラックラーメンや、白エビ風味のポテトチップスなど地元ならではの味を楽しめるセットや、高岡限定のドラえもんグッズの詰め合わせを紹介している。24日にはオンラインショップも新たに開設した。

同店は高岡駅併設のクルール高岡内にあり、国内外から多くの観光客が訪れていたが、現在は通常の2割程度の来客数という。約30の業者から商品を仕入れており、店主の中田美沙子さん(36)は「お世話になっている業者を応援するためにも、工夫して商品を売り続けたい」と意気込んでいる。

高岡市太田の道の駅「雨晴」は、高岡屋、道の駅はどちらも、SNSのダイレクトメッセージや電話で注文を受け付けている。問い合わせは同店、電話0766(21)8789、同駅は電話0766(33)5001。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、高岡市内の土産物店が会員制交流サイト(SNS)を使って、地元の食品やグッズのセットを販売している。来店客が減る中、オンラインで県内外に富山の魅力を発信している。

(平瀬志保)